



Sport Academy

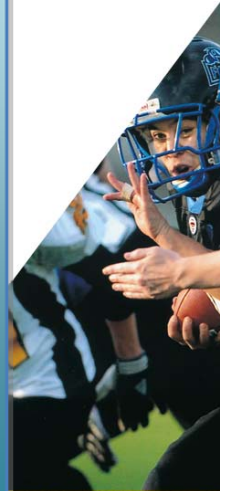
—— スポーツアカデミー ——



第6回

「スポーツ白書～スポーツが目指すべき未来～」を読み解く

第6章 プロスポーツと企業スポーツ

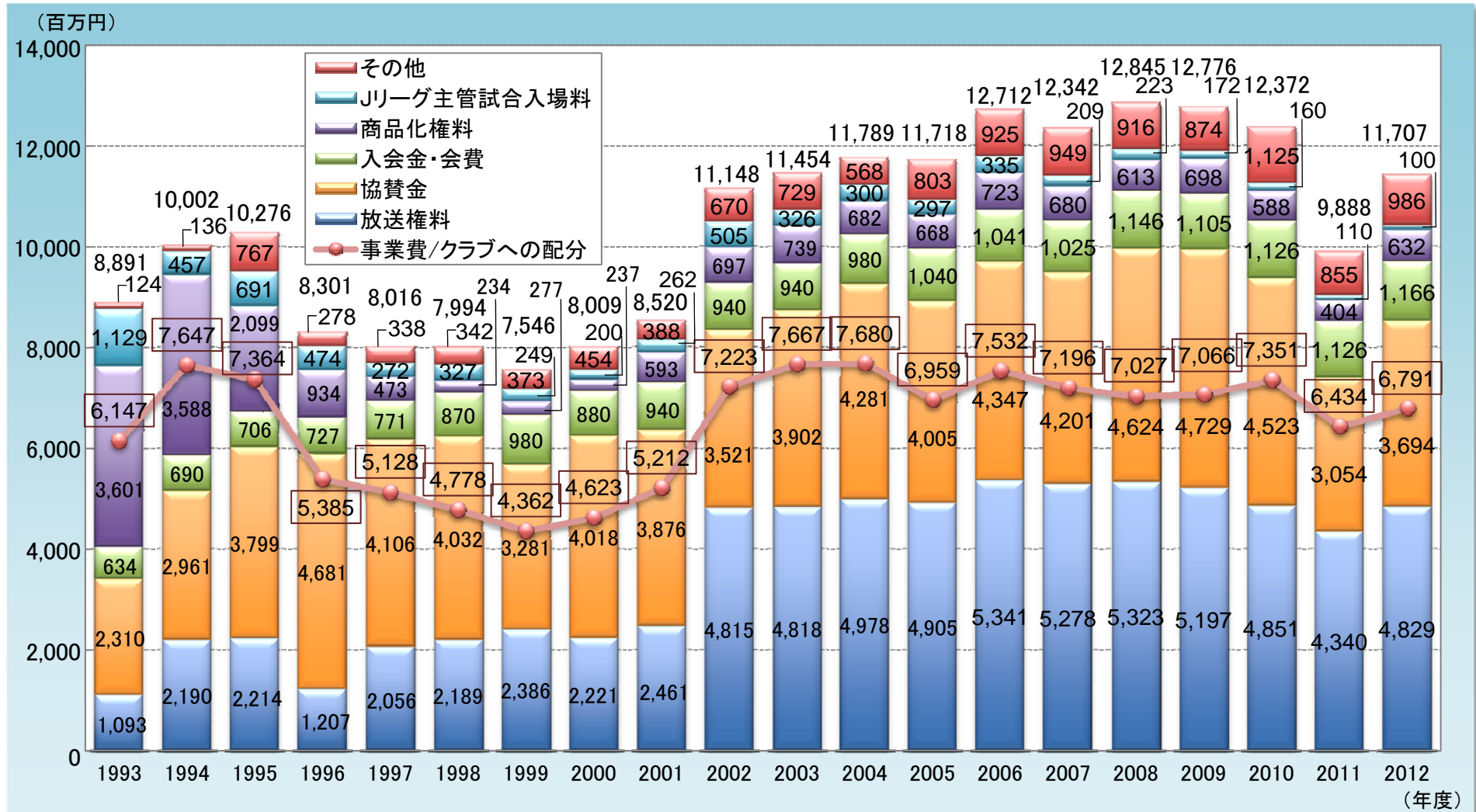


2012年11月29日(木) 18:30～20:00

 **笹川スポーツ財団**
SASAKAWA SPORTS FOUNDATION



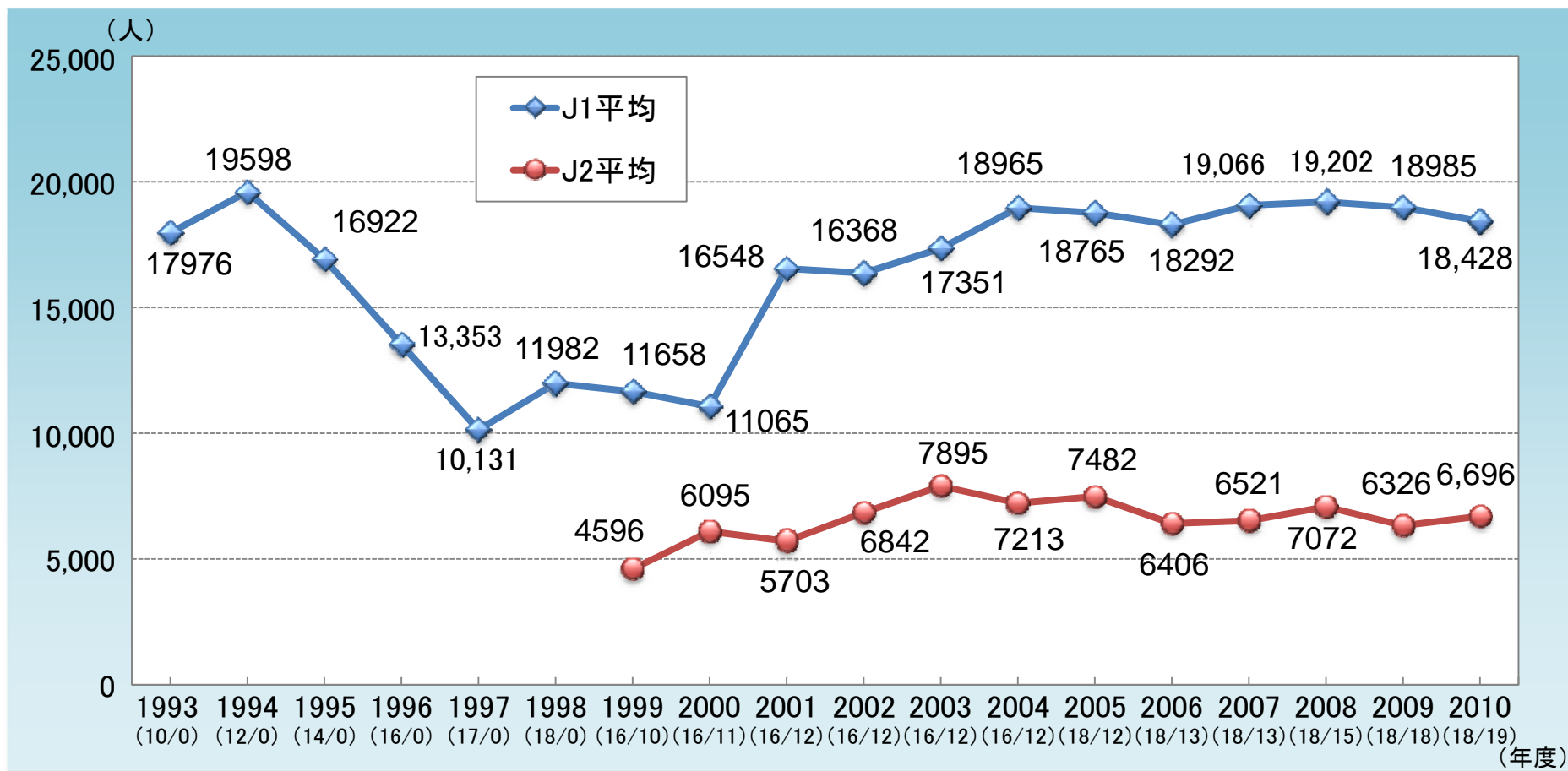
【図6-1】Jリーグの収入とクラブへの配分金の推移



※2011年度は9ヶ月(4-12月)決算。2012年度は予算額。

Jリーグ資料(2012)より作成

【図6-2】Jリーグのリーグ戦平均入場者数の推移

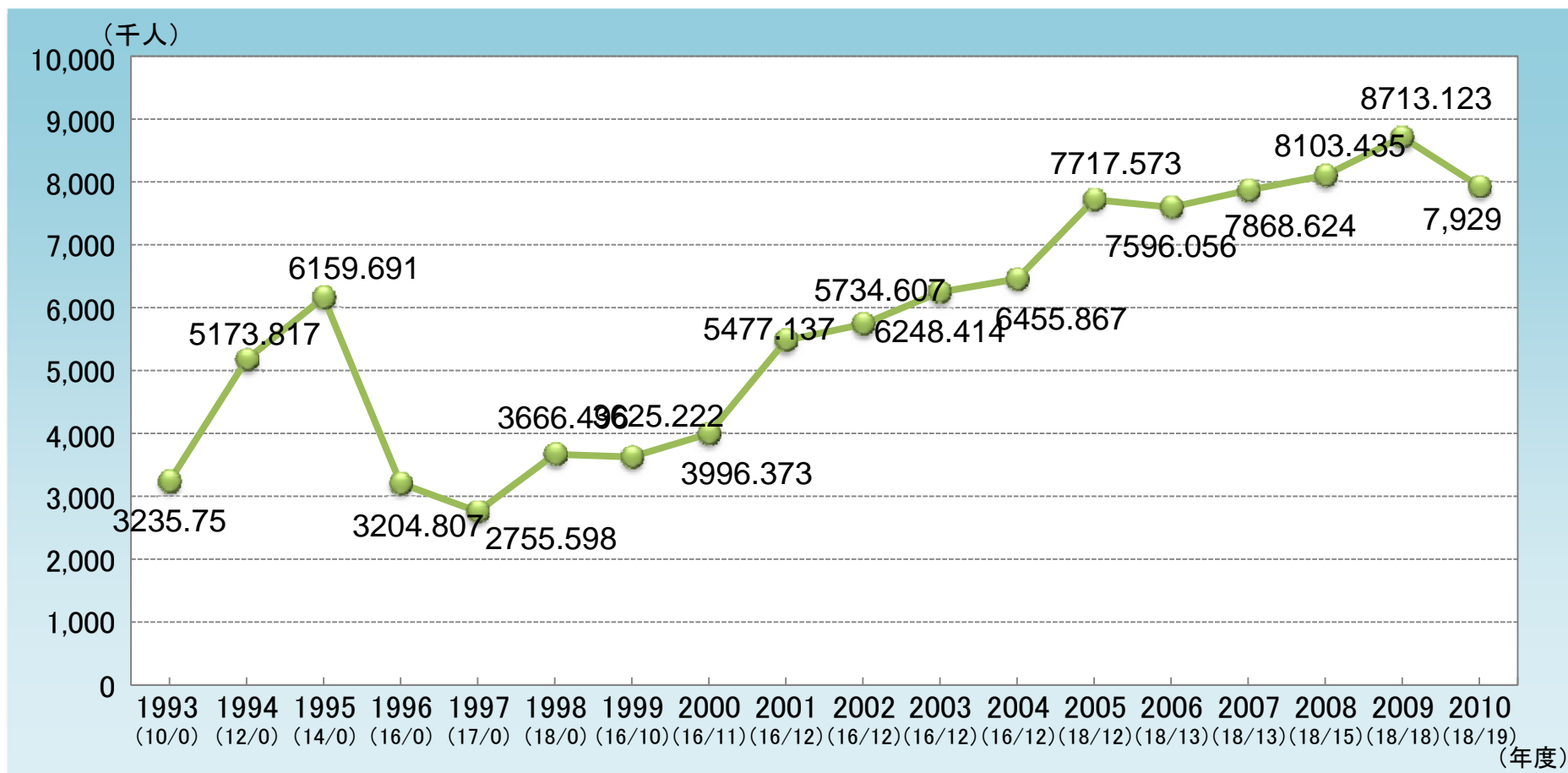


注1 シーズン年度の()は、J1とJ2の所属チーム数。たとえば、1999(16/10)は、J1が16チーム、J2が10チーム。

注2 値はすべてリーグ戦のみの入場者数を示す。

Jリーグ資料(2012)より作成

【図6-3】Jリーグのリーグ戦入場者総数の推移

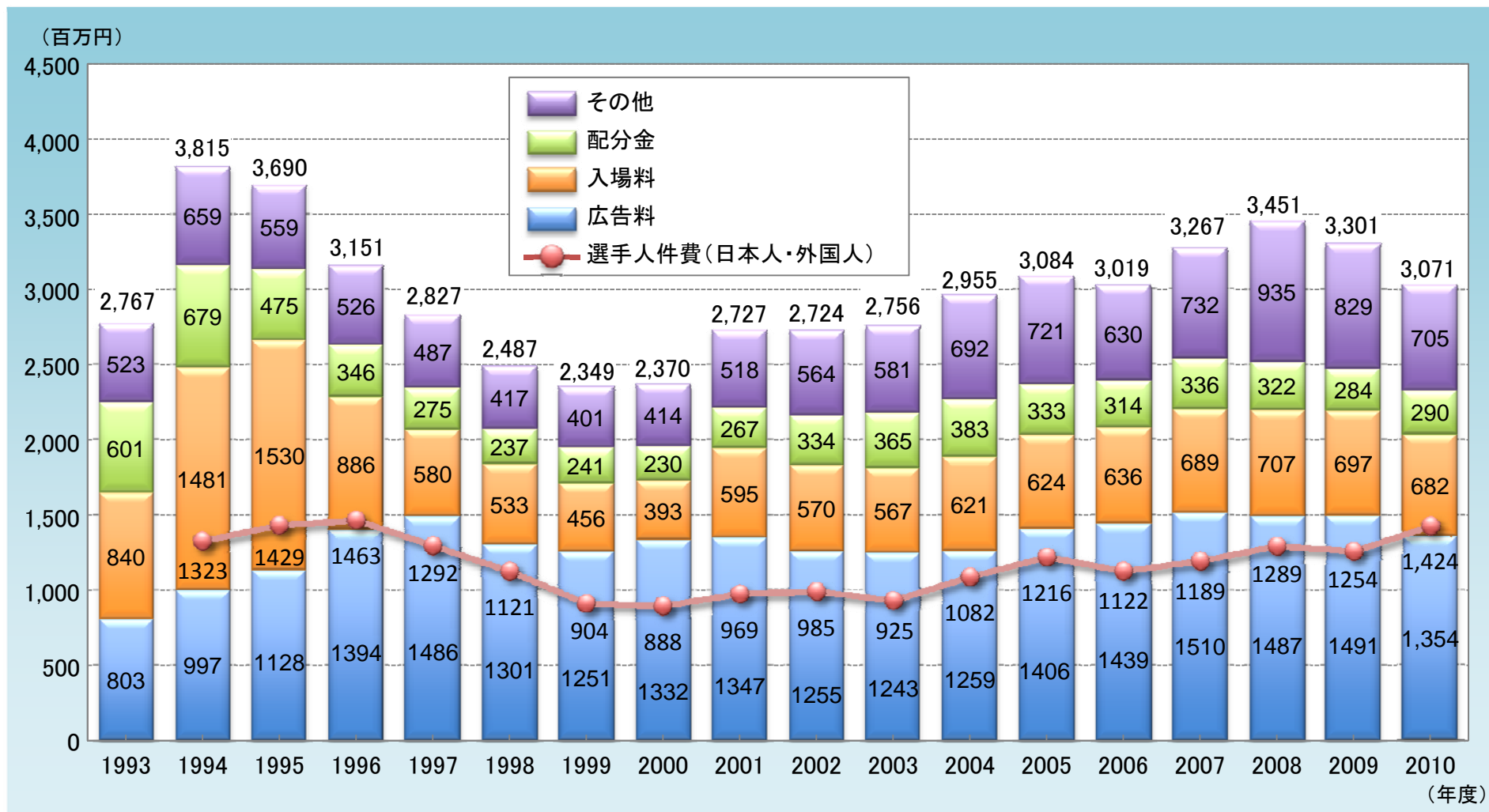


注1 シーズン年度の()は、J1とJ2の所属チーム数。たとえば、1999(16/10)は、J1が16チーム、J2が10チーム。

注2 値はすべてリーグ戦のみの入場者数を示す。

Jリーグ資料(2012)より作成

【図6-4】 J1クラブ営業収入と選手人件費の推移(1クラブ平均)



Jリーグ資料(2012)より作成

【表6-1】プロ野球の年間総入場者数と1試合平均の入場者数の推移

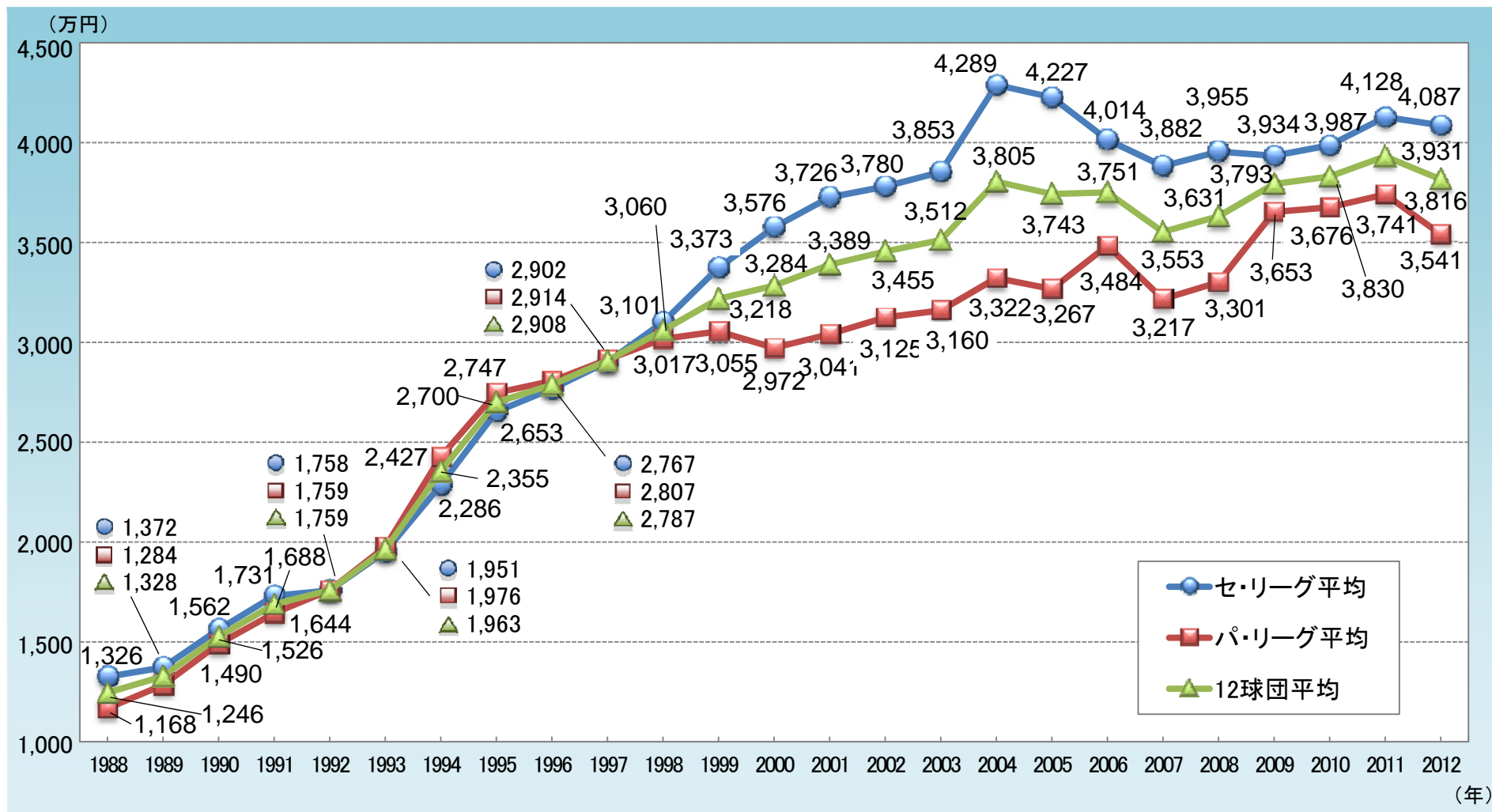
(人)

セ・リーグ		シーズン(年)	パ・リーグ	
年間	1試合平均		年間	1試合平均
12,799,500	30,475	2001	10,124,000	24,105
13,243,500	31,532	2002	9,709,000	23,117
13,520,500	32,192	2003	10,144,000	24,152
13,770,000	33,261	2004	10,684,000	26,777
11,672,571	26,650	2005	8,252,042	20,226
11,877,677	27,118	2006	8,529,281	20,905
12,140,359	28,103	2007	9,046,670	20,941
12,083,181	27,970	2008	9,555,016	22,118
12,692,228	29,380	2009	9,707,451	22,471
12,308,022	28,491	2010	9,832,981	22,762
11,792,344	27,297	2011	9,777,852	22,634
11,790,536	27,293	2012	9,579,690	22,175

2004年までは主催者発表の推定観客数

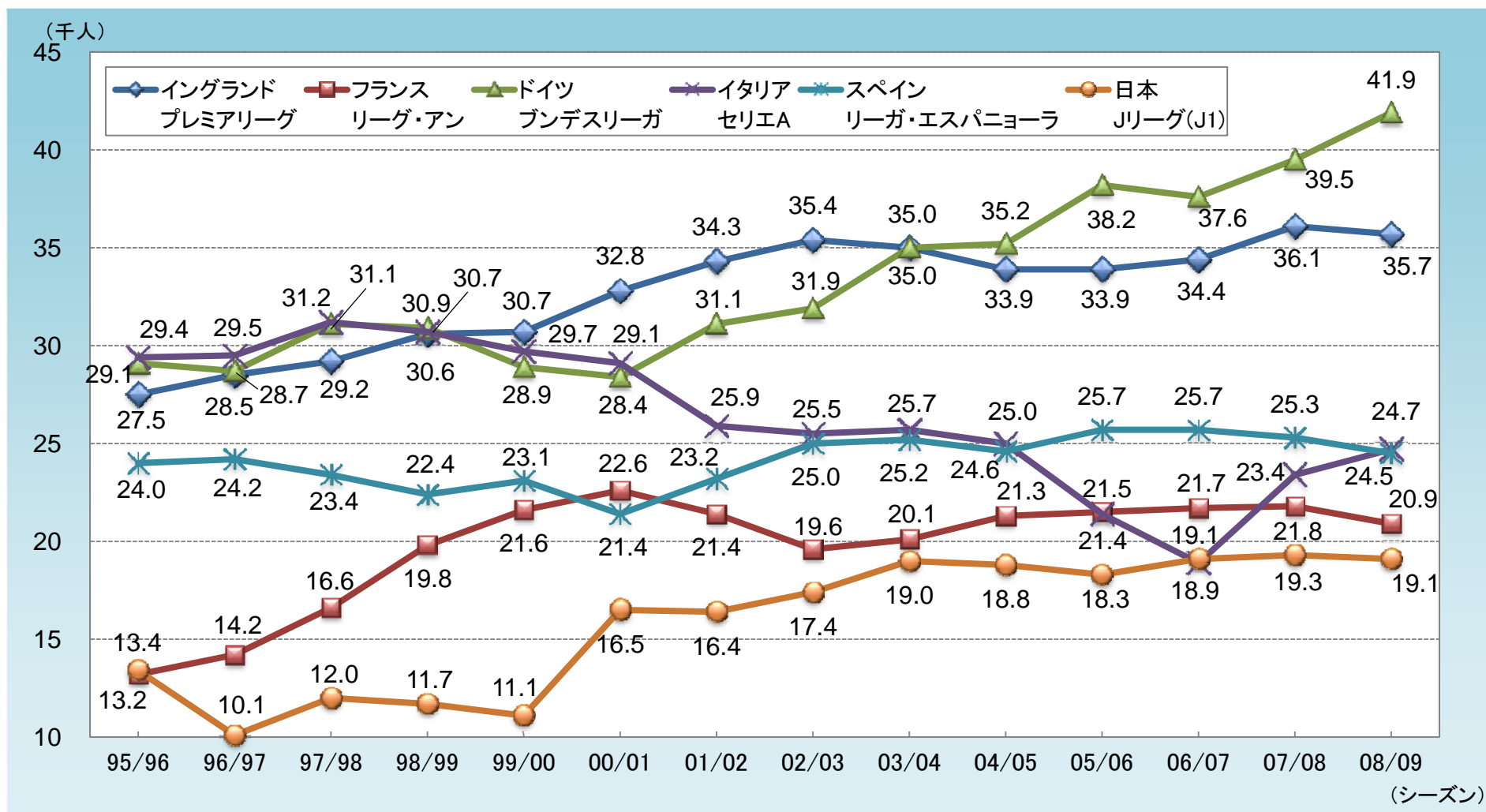
日本プロフェッショナル野球組織資料(2012)より作成

【図6-5】プロ野球選手の平均年俸の推移



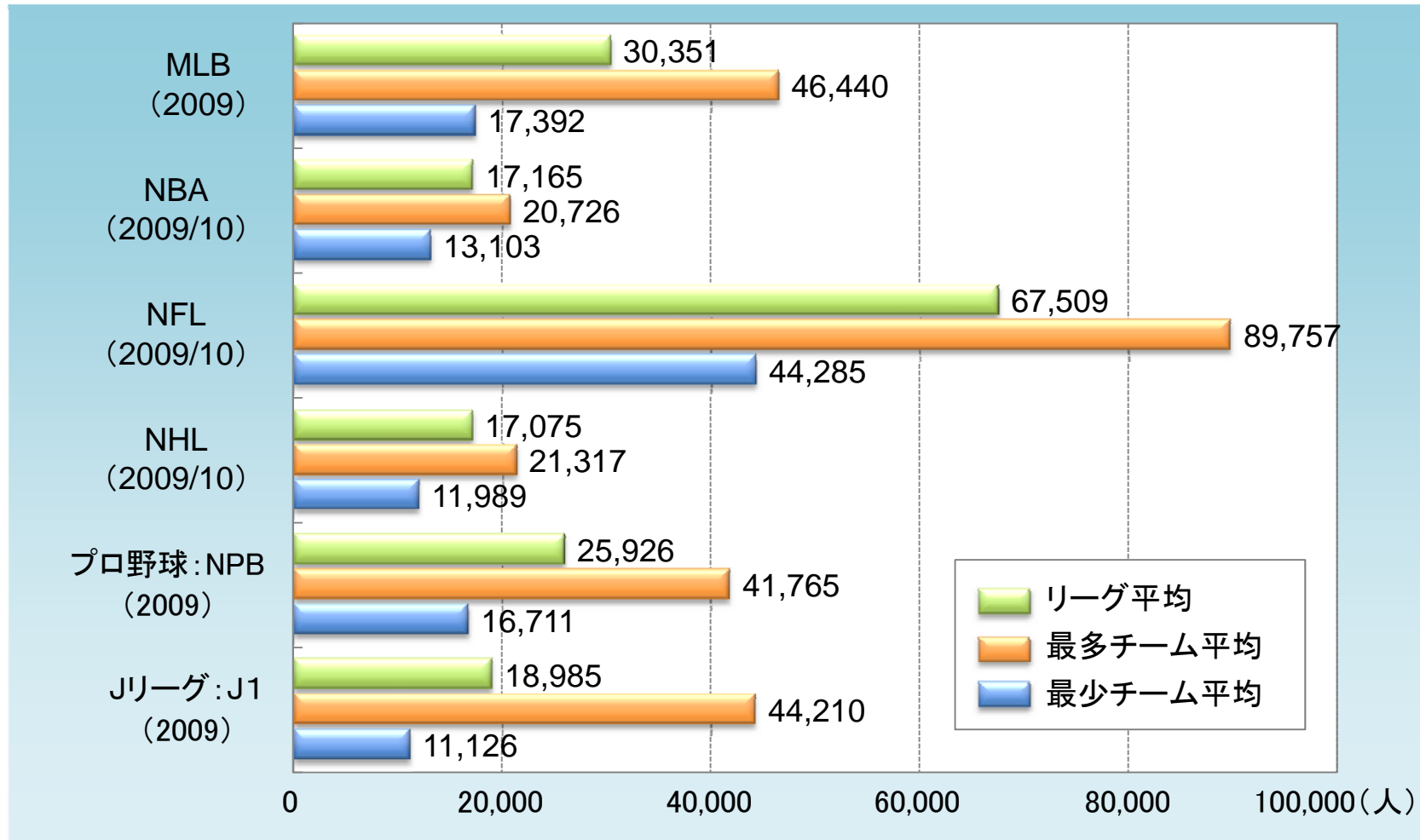
日本プロ野球選手会資料(2012)より作成

【図6-6】ヨーロッパ5大サッカーリーグとJリーグの1試合平均入場者数の推移



Deloitte「Annual Review of Football Finance」(2004、2010)、Jリーグ資料(2010)より作成

【図6-7】北米の4大プロスポーツリーグと日本のプロスポーツの1試合平均入場者数



Street & Smith's SportsBusiness Journal、Jリーグ、NPB資料(2010)より作成

【表6-2】日本プロスポーツ協会加盟の団体

競 技	団 体 名	設 立 年
相 撲	財団法人 日本相撲協会	1925
野 球	社団法人 日本野球機構	1948
ゴルフ	社団法人 日本プロゴルフ協会	1957
	社団法人 日本女子プロゴルフ協会	1967
ボウリング	社団法人 日本プロボウリング協会	1967
ボクシング	日本プロボクシング協会	1976
サッカー	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ	1991
フォーミュラ・カーレース	株式会社 日本レースプロモーション	1995
ダンス	一般社団法人 日本ダンス議会	1996
キックボクシング	新日本キックボクシング協会	1997
競 馬	日本中央競馬会	1954
	地方競馬全国協会	1962
ボートレース	一般財団法人 日本モーターボート競走会	1951*
競 輪	財団法人 JKA	1957*
オートレース	財団法人 JKA	1962*

* 現組織は2007年設立。

日本プロスポーツ協会「プロスポーツ年鑑」(2012)より作成

【表6-3】公営競技の概要

競 技	中央競馬	地方競馬	ボートレース	競 輪	オートレース
団 体 名	日本中央競馬会	地方競馬全国協会	一般財団法人 日本モーターボート競走会	財団法人 JKA	財団法人 JKA
監督官庁	農林水産省	農林水産省	国土交通省	経済産業省	経済産業省
選手資格	競馬学校での3年間の訓練を経て、日本中央競馬会が実施する騎手免許試験に合格する。	地方競馬教養センターでの2年間の訓練を経て、地方競馬全国協会が実施する騎手免許試験に合格する。	日本モーターボート競走会の運営するやまと学校での1年間の訓練を経て、卒業時の登録試験に合格する。	日本競輪学校での1年程度の訓練を経て、国家試験である競輪選手資格検定に合格する。	オートレース選手養成所での9カ月の訓練を経て、国家試験である小型自動車競走選手資格検定に合格する。
開催場所数・開催日数	8カ所、のべ288日	19カ所、のべ1,398日	24カ所、それぞれ約180日	44カ所、原則として月2回以内で年24回を超えない範囲	6カ所、のべ483日*3
年間売上 (2011年)	2兆2,481億562万7,500円	3,253億2,442万6,400円	9,198億4,224万5,700円	6,229億3,693万2,200円	843億8,694万9,100円
年間獲得賞金トップ (2011年)	29億5,600万9,000円*1	11億112万7,000円*2	2億5,085万4,000円	1億9,765万3,511円	9,005万9,850円

*1 獲得賞金の5～7%が騎手の収入となる。

*2 獲得賞金の5%が騎手の収入となる。

*3 2009年度におけるのべ開催日数。

日本プロスポーツ協会「プロスポーツ年鑑」(2012)などより作成

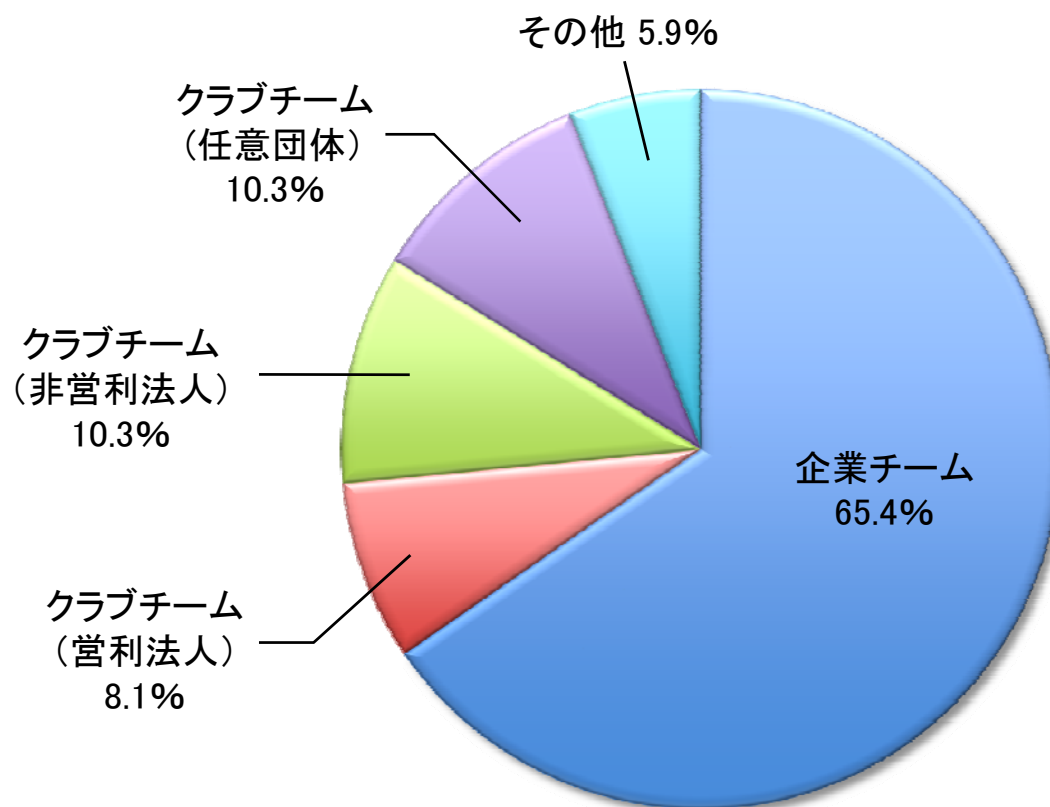
【表6-4】日本トップリーグ連携機構参加リーグ

リーグ機構	統括団体	参加チーム数
一般社団法人日本女子サッカーリーグ	公益財団法人 日本サッカー協会	なでしこリーグ 10チーム チャレンジリーグ 12チーム
一般社団法人日本バレーボール機構	公益財団法人 バレーボール協会	男子 19チーム 女子 18チーム
日本バスケットボールリーグ	公益財団法人 日本バスケットボール協会	JBL 8チーム JBL2 12チーム
バスケットボール女子日本リーグ機構	公益財団法人 日本バスケットボール協会	Wリーグ 8チーム W1リーグ 4チーム
日本ハンドボールリーグ機構	財団法人 日本ハンドボール協会	男子 9チーム 女子 6チーム
ジャパンラグビートップリーグ	財団法人 日本ラグビーフットボール協会	14チーム
アジアリーグ・アイスホッケー	公益財団法人 日本アイスホッケー連盟	国内4チーム
ホッケー日本リーグ機構	社団法人 日本ホッケー協会	男子 12チーム 女子 8チーム
日本ソフトボールリーグ機構	公益財団法人 ソフトボール協会	1部 12チーム 2部 16チーム
日本フットサルリーグ	公益財団法人 日本サッカー協会 一般財団法人 日本フットサル連盟	10チーム
一般社団法人日本フットボールリーグ	公益財団法人 日本サッカー協会	17チーム
日本社会人アメリカンフットボールリーグ	一般社団法人 日本社会人アメリカンフットボール協会	18チーム

10競技12リーグ217チーム

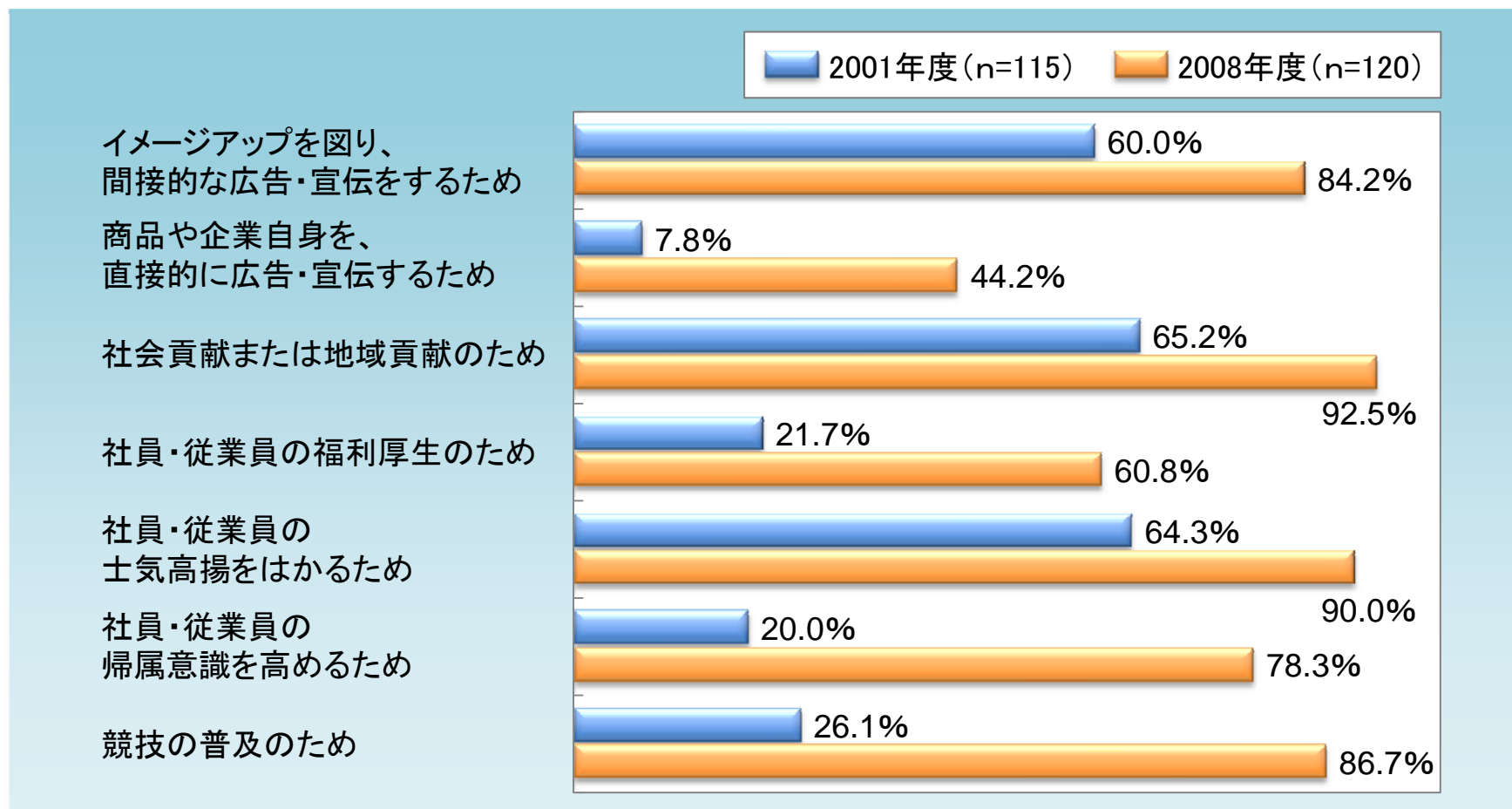
日本トップリーグ連携機構資料(2012)より作成

【図6-8】トップスポーツチームの組織形態



注 トップスポーツチームとは、JOC強化指定選手所属チームおよび日本トップリーグ連携機構加盟リーグ所属のチームを指す。
日本トップリーグ連携機構「文部科学省委託事業 スポーツ環境の整備に関する調査研究事業」(2010)

【図6-9】企業がスポーツチームを所有する理由



注 2008年度は、「とても必要だ」と「やや必要だ」の数値を合計している。

日本トップリーグ連携機構「文部科学省委託事業 スポーツ環境の整備に関する調査研究事業」(2010)